

KIRIN



よろこびが
つなぐ世界へ

Joy brings us together

KIRIN R&D DAY 2025

キリングループの R&Dの過去・現在・未来

2025年12月17日

キリンホールディングス株式会社

常務執行役員 藤原 大介

藤原 大介

ふじわら だいすけ

Background

出身 山口県

1995年 東京大学大学院・農学生命科学研究科 修了

1995年 キリンビール入社

2005年 理化学研究所・免疫アレルギー研究センター客員研究員

2005年 カリフォルニア大学ロサンゼルス校・医学部留学

2014年～ 東京大学大学院非常勤講師

2021年 キリンホールディングス・ヘルスサイエンス事業部部長

2023年 執行役員 ヘルスサイエンス研究所長

現在 麒麟ホールディングス 常務執行役員 R&D本部長
兼務) 協和麒麟株式会社 社外取締役





横浜市金沢区福浦

➤ 1992年、多角化を見据えて
新たな事業の柱を探索する目的で設立。

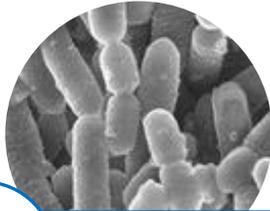


基盤研運営方針

- テーマなし
- 期限なし
- マネジメントほぼなし
- トップ大学と対等レベル

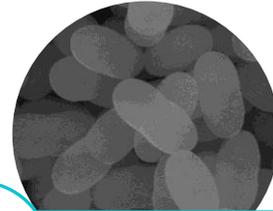
免疫学×微生物学

アレルギー



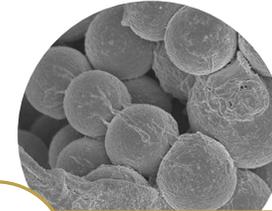
L. paracasei
KW3110

抗ウイルス



L. lactis Plasma

抗炎症



14-DHE (麴)

荒蒔 康一郎

1964年3月 東京大学農学部卒
同年4月 キリンビール株式会社入社
1990年～ 医薬事業本部副本部長
1995年～ 医薬事業本部長
2001年～ キリンビール株式会社代表取締役社長
2006年～ キリンビール株式会社代表取締役会長
2007年～ キリンホールディングス株式会社代表取締役会長

海外留学：カリフォルニア大学デービス校 食品工学科卒
理学博士取得日：1993年3月22日
新潟大学理学部（1989～1993年）にて取得
叙勲：2018年 旭日重光章（バイオ産業発展に貢献）



サイエンスの一番基本になる原理原則から
根ざして出てきたようなものというのは
そう簡単には崩れないんだよね

生命現象のベーシックからどう根差しているか
常に考えておかないといけない

科学の先見性でしか見えない未来の姿がある。

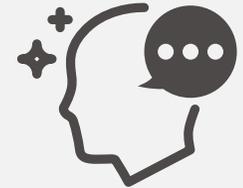
その中から人の生活を良くするものをつかみ取り

プロトタイプとして実体化する。

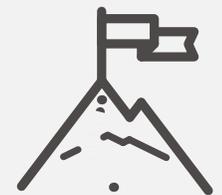
価値を世に問う。



イマジネーション



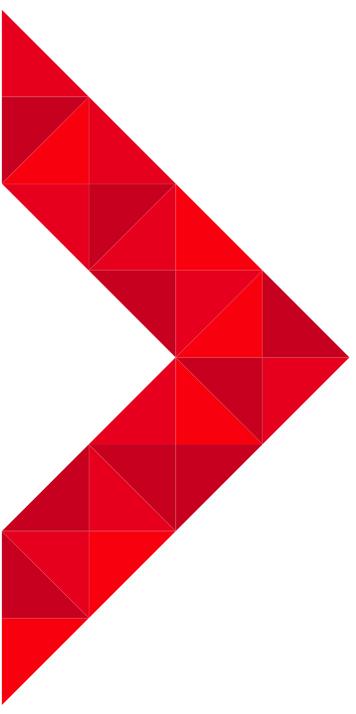
センス・消費者マインド



最後までやり切る

我々が何であったのかを振り返り
現在の立ち位置を確認し
これからの可能性を提示する

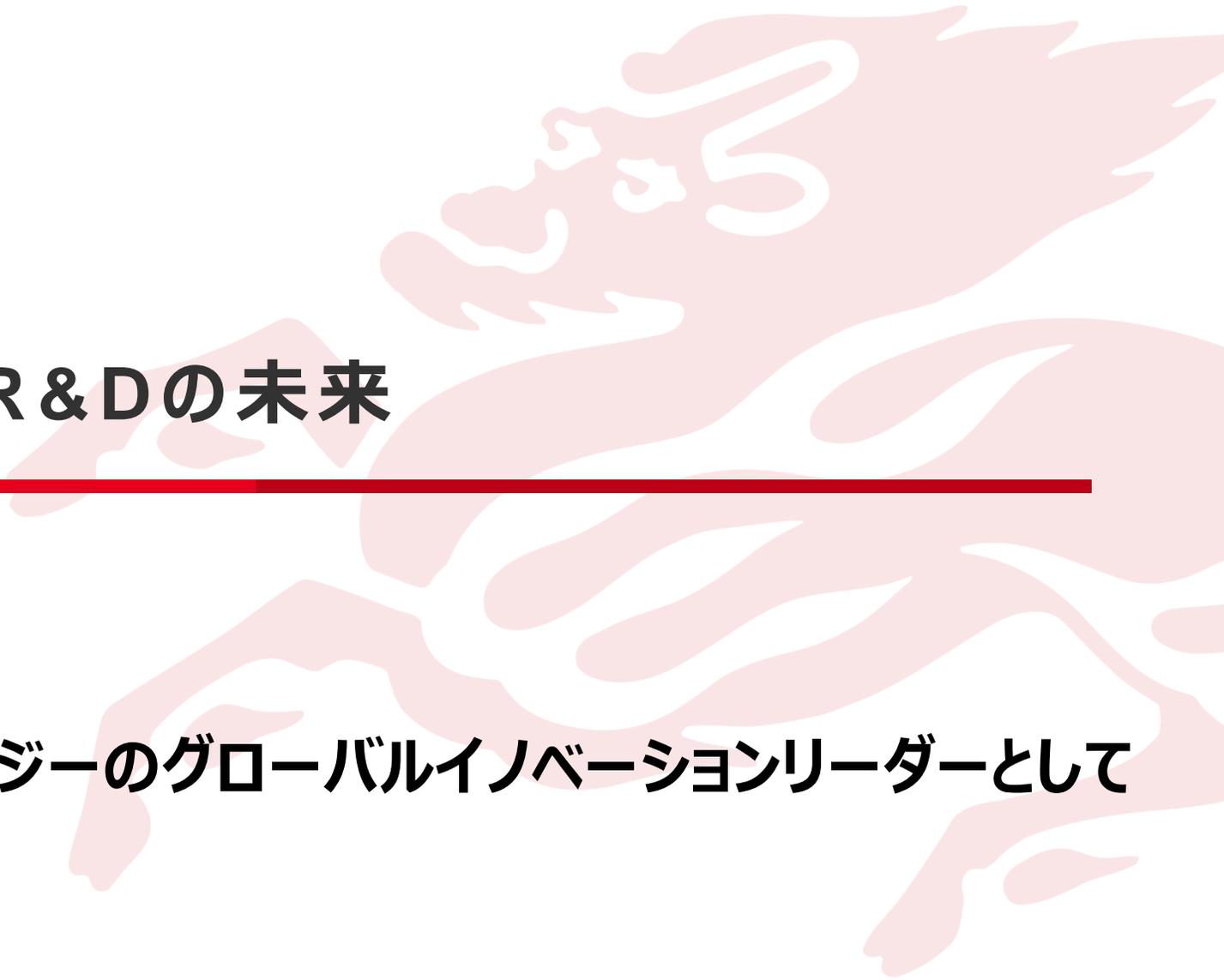




キリンググループのR&Dの未来

Joy brings us together

発酵バイオテクノロジーのグローバルイノベーションリーダーとして



グローバルの社会課題に技術力で立ち向かう

よろこびがつなぐ世界へ



▶ 生物資源確保、感染症リスク、高齢化社会、UMNなどの課題に対してグループの総力を結集して解決に挑む



グローバルイノベーション推進体制

▶ グローバルレベルへの研究レベルの引き上げ・現地ニーズ／ローカライズを目的として海外拠点を整備・活用



グローバルイノベーションを牽引する研究人財が集結

よろこびがつなぐ世界へ



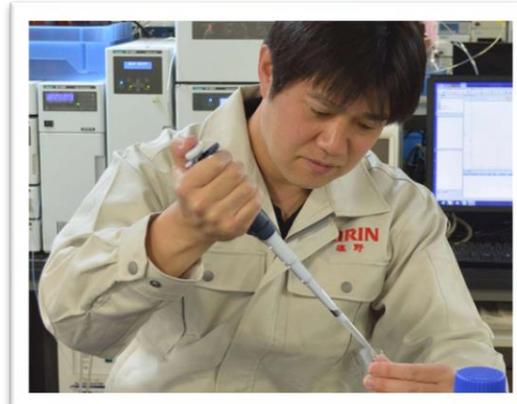
▶ 発酵バイオテクノロジーの分野で、基礎研究～商品開発・事業開発まで業界をリードする人財を育成していく



恩賜発明賞受賞
L. lactis Plasma研究をリード



世界的なウィスキーブレンダー
ウィスキー業界をリーディング



緑茶デカフェ商品化
飲料の新価値創造



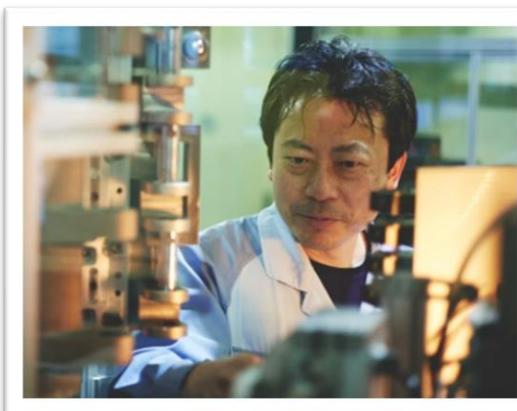
老化細胞除去物質発見
アンチエイジング研究をリード



減塩ヘルステック事業化
グローバル拡大推進中



結晶構造解析
食、ヘルスサイエンス、医に活用



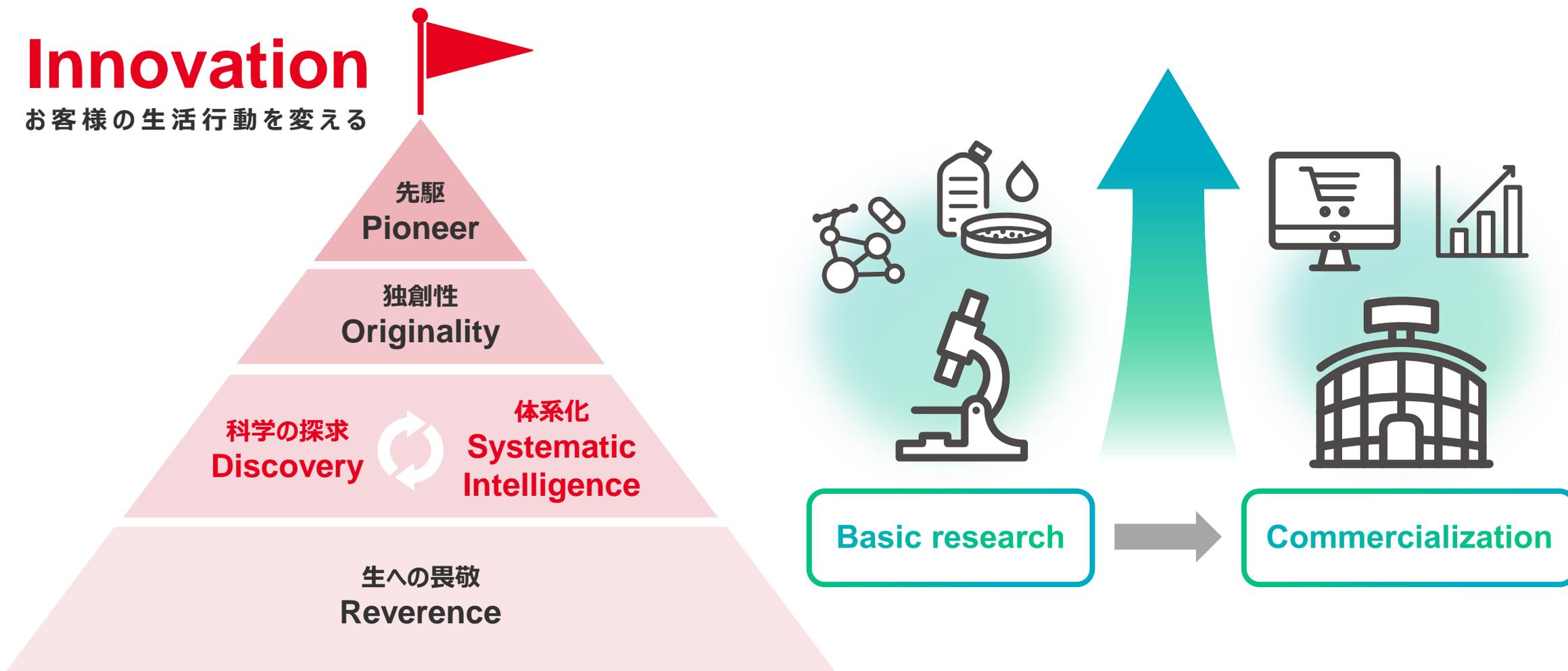
DLC-PET事業化
容器包装業界をリード



自己造血幹細胞移植型
遺伝子治療のフロントランナー

原点に立ち返り基礎研究を強化し競争優位性のある技術を生み出す

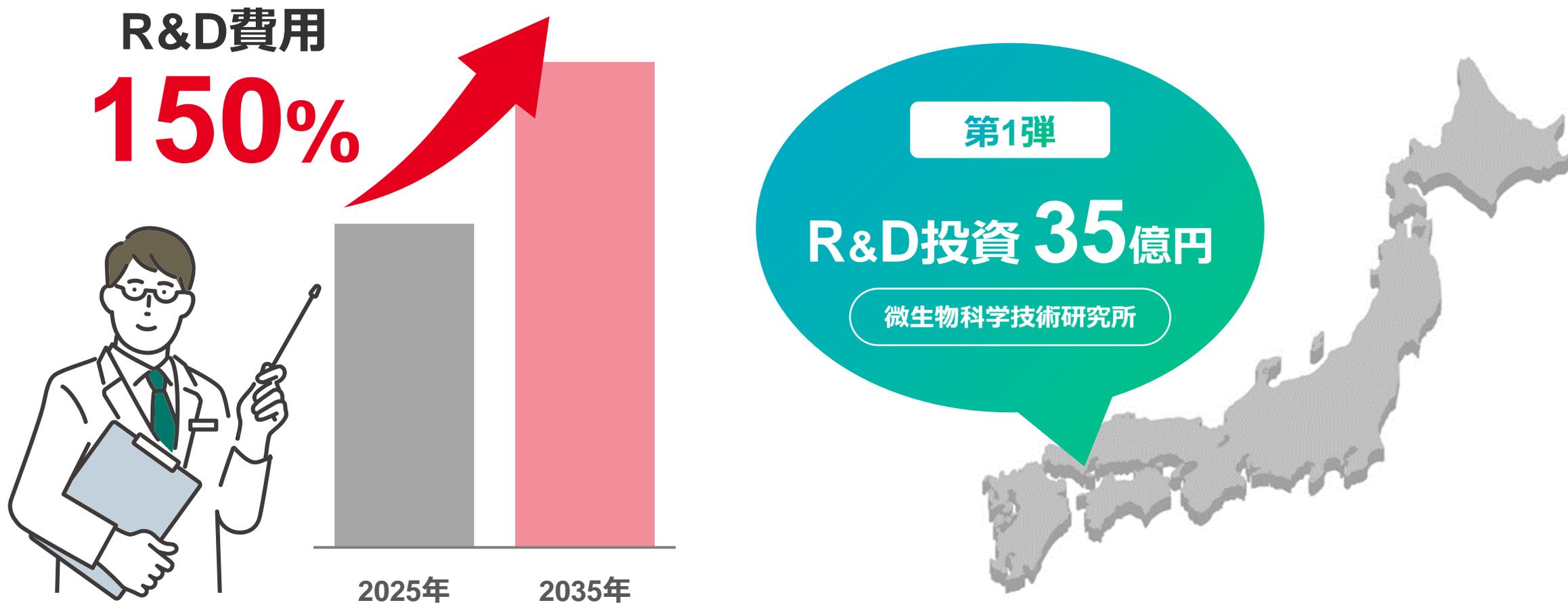
▶ “お客様の生活行動を変える”イノベーションを強い基礎研究から実現する



グローバルイノベーションリーダーを目指したR&D投資

- 2035年までを目安に、研究開発費※を現在の1.5倍程度の規模に拡大
- R&D投資も強化。第1弾として2026年より微生物科学技術研究所の研究施設に35億円を投資

※食・ヘルスサイエンス領域における研究開発費（協和キリンの研究開発費を除く）



1. 個人の技能と発想が最大限発揮できる、自由闊達でワクワクする場である。

We are in a distinguished and dynamic environment that fosters the full expression of individual talents and innovative ideas.

2. 社会を変える商品とサービスを生み出し、世界に届ける。

We create products and services that transform society and bring innovation to the world.

3. グローバルで競争力に貢献できる人財を育てる。

We cultivate individuals capable of enhancing the competitiveness globally.





よろこびがつなぐ世界へ

Joy brings us together